

平成31年3月4日から

「いちごバス (コットベリー号)」の 運行内容が変わります!

新芳賀赤十字病院の外来診療が始まる平成31年3月4日(月)に合わせ、コミュニティバス「コットベリー号」の運行内容を変更します。



運行内容

- 市内循環線 18便/日(右回り12便、左回り6便)
- ◆便数が増加します(現在は、右回り左回りともに6便、合計12便/日)。
- ◆現在の高勢町経由便は廃止し、高勢町を運行ルートに組み込み、通常便として運行します。

運行時間

午前7時20分～午後5時30分

愛称

「日本一のいちごの街もおか」を広くPRするため、新運行内容の開始日から「いちごバス」の愛称をつけて運行します。

運行ルート

新しいルートは、現在のルートを基準としながら、利用状況等を踏まえ見直しを行い、新芳賀赤十字病院や東郷地区、亀山地区の一部を運行エリアに含め、路線の運行範囲を拡大します。



運行ルート図

詳しくは、広報紙と一緒に配布される「いちごバス」の運行ルート図と時刻表をご覧ください!



運行車両

現在のワゴンタイプの車両から、26人乗りの小型バス「ポンチョ」へ車両を変更し運行します。乗車定員は、現在の8人から26人(座席12人、立席14人)へ大幅に増加します。

また、路線拡大に対応するため、運行車両を、現在の2台体制から3台体制とし運行します。

車両デザインおよび停留所デザインは、いちごをモチーフとしたデザインとしました。



(左)



(前)



(右)



(後)

いちごバスのデザイン



停留所のマーク

【問い合わせ】企画課企画調整係 ☎ 83・8102 FAX83・5896

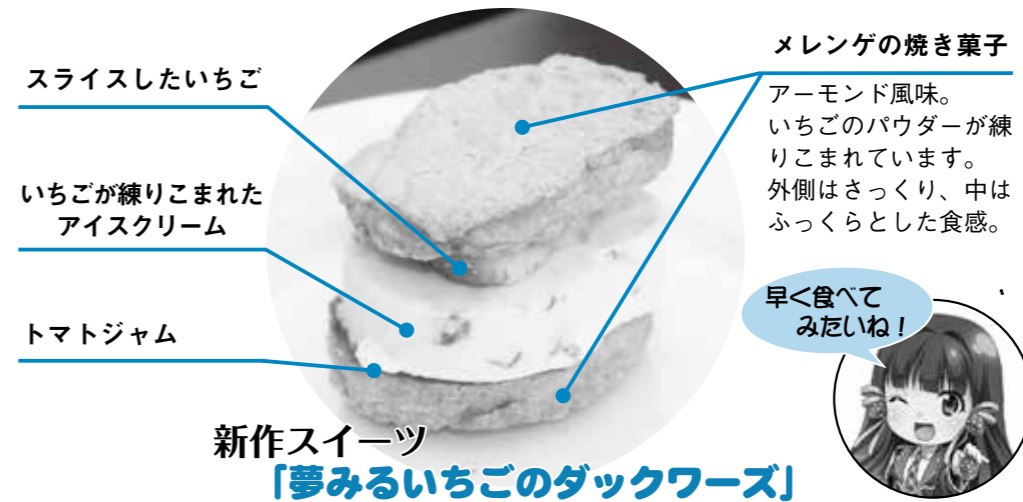
真岡の新作スイーツ「夢みるいちごのダックワーズ」を発表

市や真岡商工会議所、JAはが野などで組織する「真岡グリーンツーリズム協議会」が、真岡市の新しい顔となる商品として、いちごやトマトなど真岡市産の農産物を使用したスイーツの開発を進め、このたび、新作スイーツ「夢みるいちごのダックワーズ」を発表しました。

この新作スイーツのレシピ開発は、東京ミッドタウン日比谷にあるフランス料理店「モルソー」オーナーシェフであり、NHKなどテレビでおなじみの秋元さくらさんが手がけました。

昨年11月28日(水)に、荒町のイタリア料理店「トラットリア・ココロ」において行われた新作スイーツの発表会には、市内飲食店関係者など約30人が参加し新作スイーツを味わいました。

今後は、秋元シェフを講師に飲食店向けの料理教室を開催しレシピを提供することで、市内の各店舗が、それぞれのアレンジを加えたダックワーズを提供する予定です。



新作スイーツ
「夢みるいちごのダックワーズ」



秋元さくらシェフ

大学卒業後、航空会社で客室乗務員として活躍。その後、調理師学校に入学し、白金にある「オー・ギャマン・ド・トキオ」などで料理の腕を磨く。2009年、ソムリエである夫・史彦氏とフランス料理店「モルソー」をオープン。



【問い合わせ】農政課園芸畜産係 ☎ 83・8139 FAX83・6208



12月19日(水)、真岡商工会議所で、「農業と商工業の連携を通じた産業振興に関する協定の締結式」が行われました。
この協定は、市と真岡商工会議所、のみや商工会、JAはが野の4者が相互に連携・協力し、産業振興と地域社会の発展に努めることを目的に締結されたものです。今回の協定を通して、地域ぐるみでの農商工の連携強化が図られ、地域経済の発展につながることが期待されます。

【問い合わせ】商工観光課商業係 ☎ 83・8643 FAX 83・0199

産業振興に関する農商工連携協定を締結



真岡市では、まちづくりの最上位計画である「第11次市勢発展長期計画」の計画期間が平成31年度で終了するため、市民会議を設置し、計画の改訂作業を進めています。この事業は、若者の意見を今後のまちづくりに反映させるために開催され、市内在住の高校生をはじめ、大学生や社会人が参加しました。
ミーティングは、BGMが流れるリラックした雰囲気の中で行われ、参加者は、自由に意見交換し、まちづくりに参画する機運を高めるとともに、参加者同士の交流と情報共有を図りました。

【問い合わせ】企画課企画調整係 ☎ 83・8102 FAX 83・5896

若者ミーティング“Moka Cafe”を開催
フォーシーズン静岡風において、11月3日(土)と24日(土)に、Moka Cafe 未来を創る若者ミーティングが行われました。